

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・技術課、高速道路課

担当課長名:西川 昌宏、渡邊 良一

事業名	一般国道312号 大宮峰山道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 京都府道路公社
起終点	自:京都府京丹後市峰山町新町 至:京都府京丹後市大宮町森本			延長	5.0km

事業概要

山陰近畿自動車道は、鳥取県東部、但馬、京都府北部の各地方生活圏を連絡するとともに、中国横断自動車道姫路鳥取線、北近畿豊岡自動車道及び京都縦貫自動車道等との連携により広域的なネットワークの形成を図る延長約120kmの路線です。

そのうち、城崎道路と大宮峰山道路は、ミッシングリンクの解消により、災害に強い道路ネットワークの確保、走行時間短縮による救急医療活動、観光振興の支援を目的とした道路であり、国による直轄権限代行により整備を行っています。

H27年度事業化	H11年度都市計画決定 (H18年、H26年度変更)	H29年度用地着手	R元年度工事着手
全体事業費	約305億円	事業進捗率 (令和7年3月末時点)	約33% 供用済延長 -km

計画交通量 6,400台／日

費用対効果分析	B/C (事業全体) 1.6(0.8)	EIRR (事業全体) 6.8(3.0)%	総費用 (残事業)/(事業全体) 1,754/6,846億円 <small>事業費: 1,688/6,551億円 維持管理費: 66/221億円 更新費: 0/73億円</small>	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,042/10,811億円 <small>走行時間短縮便益: 938/9,479億円 走行経費減少便益: 91/1,122億円 交通事故減少便益: 13/210億円</small>	基準年 令和7年
	(参考) 2.0(1.2) [2%]	(参考) 2.4(1.5) [1%]	(残事業) 0.6(1.4)	(残事業) 1.2(6.3)%	
			感度分析 交通量 事業費 事業期間	(事業全体) B/C=1.4~1.7(±10%) 事業費 B/C=1.5~1.6(±10%) 事業期間 B/C=1.6~1.6(±20%)	(残事業) B/C=0.53~0.65(±10%) 事業費 B/C=0.54~0.66(±10%) 事業期間 B/C=0.56~0.62(±20%)

事業の効果等

①交通混雑の緩和

- ・城崎道路及び大宮峰山道路の並行区間である国道178号・国道312号では、沿道施設の開発や交差道路が多く信号交差点が多いことにより交通混雑が発生している。
- ・本事業の整備後は、城崎道路及び大宮峰山道路を利用した新たなルートが確保され、旅行速度の向上や所要時間の短縮が期待される。

②交通安全性の向上

- ・城崎道路及び大宮峰山道路の並行する国道178号・国道312号では、交通事故の発生割合が高く、交通混雑に起因すると考えられる追突事故が約6割を占めている。
- ・本事業の整備後は、城崎道路及び大宮峰山道路への交通の転換による交通混雑の緩和により、交通事故の減少が期待される。

③救急医療体制の支援

- ・与謝野町の京都府立医科大学附属北部医療センターが平成21年より医療機能を充実・強化し、町内以外の広域的な受け入れを開始。京丹後市からの救急搬送数は約2倍に増加。豊岡病院への救急搬送数も増加傾向。
- ・城崎道路及び大宮峰山道路の整備により、救急搬送時間の短縮、搬送患者の負担軽減が期待。

④ミッシングリンクの解消

- ・城崎道路及び大宮峰山道路の整備により、北近畿豊岡自動車道や京都縦貫自動車道に接続し、日本海側のミッシングリンク解消に寄与し災害時等の代替路の確保や被災時の道路啓開のための基幹ルートの確保、主要拠点への進出に貢献。

⑤観光資源へのアクセス強化

- ・但馬・丹後・中丹地域には、城崎温泉や玄武洞公園、天橋立や琴引浜をはじめとする魅力的な観光資源を有し、年間1,500万人を超える観光客が来訪している。
- ・城崎道路・大宮峰山道路の整備により日本海沿岸地域の観光資源へのアクセス性が向上し、観光振興への支援が

期待される。

関係する地方公共団体等の意見

京都府知事：

山陰近畿自動車道につきましては、府の新広域道路交通計画において、高規格道路に位置づけているとともに、重要物流道路に指定された極めて重要な道路であります。

また、山陰近畿自動車道の早期全線開通は、府民からも大きな期待が寄せられていることから、京都府では、国土交通省にも多大な御支援をいただいた有料道路事業の導入や文化財調査の外部委託活用による早期調査完了の促進等、山陰近畿自動車道の早期全線開通に向けて全力で取り組んでおります。

国土交通省におかれましては、府の悲願である早期全線開通を達成するため、当該大宮峰山道路事業についてその重要性に鑑み、直轄権限代行により事業推進いただいていることに感謝いたします。

一方、この度の大額な事業費増は、社会情勢の変化や計画段階では予見することができなかつた事柄に起因する等、やむを得ないものと判断しておりますが、引き続き、道路構造や施工方法について十分検討の上、コスト縮減を徹底いただくとともに、所要の事業費確保に最大限努めていただきますようお願いします。

また、工程・安全管理は、地域のまちづくりや有料道路事業に影響することから、より一層適切に実施され、一日も早い開通及び開通時期の公表に向けて、全力で取り組んでいただきますようお願いします。

以上の意見を付したうえで、事業継続という対応方針(原案)に賛成します。

京丹後市長：

(大宮峰山道路の令和8年度完成に向けた最大限の整備加速化)

①宮津天橋立～大宮峰山(予定)までの間の有料化については、その事業計画の申請の中で大宮峰山道路の令和8年度完成、同9年度から供用開始を内容に含められ、申請・承認が行われており、その前提の中で、宮津天橋立～京丹後大宮までの有料化が予定どおり本年4月からスタートされている。一方、有料化を巡っては、当時、先線も含めた整備の最大限の加速化を前提として、地元としてギリギリの受け止め・判断をさせていただいており、大宮峰山インターの令和8年度完成を背景条件として申請・承認のうえ有料化のスタートが既になされている以上、令和8年度完成に向け、最大限の事業加速化を強く要請

②このため、課題となっている埋蔵文化財調査の更なる体制強化を京都府と国が全面的に連携して行い、工事区間の最大限の早期調査完了を強く要請

(期待する効果)

①高速道路網の形成

- ・全国的にも数少ない日本海側唯一の「ミッシングリンク」の早期解消
- ・京丹後市第3次総合計画(令和7年～令和10年)に掲げる「大動脈と直結する大動脈のまちづくり」の実現への期待
- ・代替路となる高速道路網を形成することによる災害時の活動支援
- ・京阪神地域と日本海沿岸地域間における地域連携の強化による地方創生の加速前進
- ・半島地域におけるリダンダンシー確保のための道路ネットワークの根幹。万一の南海沖地震の際の避難とバックアップのための近畿と山陰の連結

②交通混雑の緩和・移動時間の短縮

- ・観光シーズンを中心とした国道312号の交通混雑の緩和
- ・救急車両の搬送時間の短縮

③高速道路のアクセス向上のストック効果

- ・京丹後大宮IC開通(平成28年10月)以降、京丹後市内に新たに7社が企業立地
- ・周遊性の向上により、立寄り可能となる「海の京都」の魅力ある観光施設が増加し、観光客の選択肢増加による地域全体の魅力向上(京丹後市観光消費額：令和6年度は約94億円で過去最高)
- ・峰山町市街地から京都府立医科大学付属北部医療センターまでの救急搬送時間の短縮による「命の道」の早期整備

(取り組み)

・山陰近畿自動車道の早期全線整備を促進する地元の促進大会を毎年開催

(国会議員をはじめ国・府・地元関係者約400人が出席)

・山陰近畿自動車道の整備を促進するため地籍調査事業を推進(全体の約6割完了)

・京都府北部7市町の連携(海の京都DMO)による観光誘客事業の推進(マネジメント、マーケティング、プロモーション)

事業評価監視委員会の意見

審議の結果「一般国道312号大宮峰山道路」は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	沿線地域の人口は近年減少傾向、世帯数・自動車保有台数は横ばい傾向であるものの、過去10年間に通行止めが7回発生するなどの課題が生じている。
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成27年度事業化、用地取得進捗率約99%、事業進捗率約33%(令和7年3月末時点)
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続きコスト縮減を図るとともに、事業費の管理徹底に努め、事業を推進し早期開通を目指します。
施設の構造や工法の変更等	今後も、技術の進展により新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら事業を推進していきます。
対応方針	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。
事業概要図	
【位置図】	
	【概略図】 【大宮峰山道路】

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)

※B/Cの値は、鳥取西 IC 付近～宮津天橋立 IC を対象とした場合、()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用分析結果。